

一般質問



立 議員

質問

一、若者、新婚の方あるいは結婚した若い世代の方々を対象にした市営住宅を建設し、園児や児童の増加を図ることによって小学校の統廃合を防ぎ、保育所が健全で安定した経営が図られるような対策を講じる必要がある。本市でも統廃合が進められている中、対策を講じないと上志佐小学校はその問題に間違いなく直面することとなる。全国的には児童が増加し、統廃合を免れた自治体がある。市としても一歩前に進めて、実効性のある対策を講じるべきであると思うが、市長の考えを伺いたい。

二、一時保育制度は、緊急時に子どもを預かり、不安なく保育が行われる制度と思うが、その制度は現在、円滑に運用されているのか伺いたい。

市内の保育所全体で一時保育の情報ネットワークを新設し、雇用環境が厳しい現状の中、育児家庭に不安を与えないような安全安心で健やかな保育行政制度に改めるべきだと思いが、担当課としての考えを伺いたい。

一、上志佐小学校統廃合を防ぐため、保育所の存続を講ずるための新婚者専用市営住宅の建設について
二、一時保育制度について

答弁

一、公営住宅の建設になりますと、現在の需要と供給や民間との関連を全体的に検討する必要があります。現在、子育て世代の方々に対しては、定住支援制度として定住奨励金、賃貸住宅入居費補助金、家賃減額助成あるいは医療費の助成、学校給食費の助成などを取り組んでおります。現在の支援制度をもう一歩踏み込んで誘導策を打ち出したらどうかとのご指摘ですが、今取り組んでいる制度がどのような効果があるのか検証し、効果がなければ次の施策を検討していく必要があると思います。

二、一時保育は、保育所を2か所以上併用して利用できることとなっておりますが、この扱いについて一部の施設で認識が不十分であったため保護者との間で誤解が生じた事例がありました。このことがわかった時点で市内の各保育所及び保育園に対して周知の徹底を行ったところです。

情報ネットワークに関しては、施設長会議等に諮って一時保育システムの強化に努めてまいります。

一般質問



枝 議員

質問

一、猶興館高校には昨年市内から80名が在籍し、御厨中においては松高希望者より多い17名が入学の現状である。松高再生のために、就学支援として入学準備補助金3万円、通学費全額、修学旅行費補助金6万円限度、模擬試験・資格取得試験受験料補助金、教材費等実費全額補助金、離島からの通学船賃全額と下宿代に対する補助金を出せないか。市は乗り合いバスに対し年間約2千350万円を出している。松高の制服であれば乗車賃を無料にできないか。更に、陸上部の寮費に別枠で3万円を補助できないか尋ねます。

二、合併から10年後の平成28年度から5年間で、交付税が10億円削減される。自主財源をつくる必要がある。

(1)福島町平野工業団地は何年間動いてないか。

(2)徳義炭鉱跡地は国の何らかの使用施策があるのか。平野工業団地や徳義炭鉱跡地を利用して、市のメガソーラー発電経営を提案するが、政策の問題としてどのように考えるか。

その他に公共下水道に関する検証とその延長について質問しました。

一、松浦高校全学生に対する就学支援制度の創設及び陸上部支援について
二、市・国の遊休地を利用して、太陽光発電所(メガソーラー)を市が建設し自主財源をつくることについて

答弁

一、松浦高校に対する支援については、現在、学校と具体的な協議を進めております。高校は生徒に直接還元できる支援を希望されておりますが、市としては松浦高校自体の魅力向上につながることもできないか検討すべきだと考えています。高校との協議が整えば、可能なものから支援策を講じてまいります。ご指摘の通学費等に関しては、支援策の一つとして検討いたします。

部活動の活性化は、松浦高校の魅力向上につながるものであると思います。その支援のあり方については、高校とよく協議してまいります。

二、(1)平成9年に現在の状態に埋立が終了し、ライト技研工業が約3千平方メートル購入された実績がありますが、残りの土地は約15年間動いていません。

(2)市の自主財源の確保は、最重要課題だと認識しておりますが、太陽光発電所に関しては、民間でできることはできるだけ民間で行っていただき、市としては、行政課題の解決に必要な事業を優先して、実施していきたいと考えています。